

なるほどッ! 介護リフォーム

特別企画

一本の手すりは、一家の手すり

手すりの数だけ
工夫が

「ごめんください。さくらメディカルです」と玄関の扉を開くと、家の中から「どうぞ」という返事。玄関の中に入ると、手すりが1本、2本、3本…。玄関から茶の間やトイレ、浴室までの廊下の壁や柱などに歩くときに「ここに手すりがあるといいかも」という所に、さまざまな形の手すりが付いていました。パッと数えても10本以上。ご自宅で暮らし続けるための工夫が一目で伝わってきました(写真①と②)。

新潟市東区にお住まいの海津恵美子様は、出身地の

1本の手すりは、少しずつ不安になってきた歩行などの動作を支えるだけでなく、普段の生活から不安や大



① 不安や大変さを取り

除きます。さらに、家族全員にゆとりと笑顔を取り戻します。



② 家の中いたるところに「手すり」が…(矢印)

前号(4月発行の第34号)でもご紹介しましたように、さくらメディカルで介護リフォームを担当している「福祉住環境チーム」の発端は、今から10年以上前、介護保険でベッドをレンタルされているお客様への手すりの取付工事でした。

そこで今号では、私たちの原点でもある「手すりの取付」によって、ご自宅での生活が「楽になった」と喜んでおられる事例をご紹介します。

友達の経験談が大きな一歩

ケアマネジャー様が浴室への手すりの取付などの住宅改修をご提案されましたが、ご主人がなかなか「うん」と言わず一年が過ぎていきました。

ちょうどその頃、恵美子様のお友達の一人が自宅の浴室やトイレに手すりなどを取り付ける住宅改修を行って、恵美子様に「手すりを取り付けてよかったです。あなたもしてみればいいわね!」とすすめられました。

また、「介護保険の住宅改修だと費用の負担も全体の1割でいい」と体験談を話してくれたそうです。

恵美子様がご主人にこのことを話し、「わたしもそうしてもらおうよ」と気持ちや伝えたとこ、費用面も心配の一つだったと思う(恵美子様談)ご主人がようやく「うん」とうなずかれ、その後は一気に浴室の手すり取付などの住宅改修の話が動きはじめました。

毎晩、お風呂が楽しめるように!

今回の住宅改修は、当社の新潟支店の一級建築士が担当しました。

海津様宅は、一般的な木造家屋で、浴室には、最近では一般的な「和洋折衷式浴槽」よりも浴槽が深い「和



1 洗面場の床に表面が柔らかいスノコを設置して脱衣所との段差を解消する(写真A)。

2 それほど広くない洗い場でもコンパクトに設置でき、恵美子様が一人でも身体の向きを変えることができる座面回転タイプのシャワーチェアを設置する(写真B)。



2面へつづく

1面より

3 浴槽への出入り用として、横手すりを2本設置する(写真C-1、C-2)。



4 比較的深めの浴槽内には、以前より浴槽台が設置されており、今回の手すりの設置によって、浴槽への出入りや浴槽内での立ち上がりがさらにラクになる(写真D)。



改修して「よかった」

昨年10月に工事が行われ半年以上が経過しましたが、住宅改修を行って「よかった」(恵美子様)と大変喜んでおられました。特に、今までの洗い場はマイルだ

手すり取付のワンポイントアドバイス

取付位置のヒントは本人の動作にあり

手すりの位置を決めるには、ご本人の動作確認が大切です。



今回の海津様の場合も入浴動作をリハビリの方と確認し、特に手の動きに注目し高さ、形状をチェックして決定しました。新潟支店 小泉正昭 (一級建築士)

ったために、冬場は「冷たくて嫌だった」ようですが、今度のスノコは、柔らかいうえ「冷たくないのがいい」と大変お気に入りになりました。

また、取材の当日は、体調が万全ではなかった恵美子様にご代わって、入浴の方法などを紹介していただきました。ご主人の「穏やかな顔」と「身軽な動作」からも、「よかった」が伝わってきました。

玄関の手すりも「楽しみ」

海津様ご夫婦は、恵美子様の通院や近所のスーパーへの買い物の際に、車いすを使用されていますが、これもご夫婦にとっては体力的・精神的に負担の大きなことでした。



そこで、昨年の浴室の改修後に、玄関アプローチ(写真E)への手すりの設置

をご提案してきましたが、「主人の了解を得るにはいつも一年ぐらいはかかる」(恵美子様談)ことからなかなか実現しませんでした。そしてつい最近、玄関アプローチの手すりについてもご主人の「うん」が得られ、近々工事が予定されているとのことでした。

一度決まると行動が早いのが職人気質。ご主人は早速、ご自分でも恵美子様の使い勝手をよく考えられた場所に手すりを取り付けて(写真F参照)、新しい手すりが完成するのを「楽しみ」(夫婦談)と期待しておられました。



取材後の工事で完成した手すり

丁度いいタイミング

最近、恵美子様が定期的に通院されている病院の医師より、「ご主人も年相応の体力になってきている」と言われることがあり気になるそうです。

今、海津様宅から手すりがないことを想像すると、手すり一本一本の必要性や役割の大きさを実感します。家具職人として鍛えられた身体で、いつも「いわね、いわね」と恵美

子様を介助されていた十三男様も73歳となり、いままでと同じように身体を使うことが難しくなってくる頃かもしれません。近々設置される玄関アプローチの手すりも含めて、恵美子様の生活動線上には必要な場所に必要な手すりが取り付け

恵美子様仕様の歩行器とシルバーカー



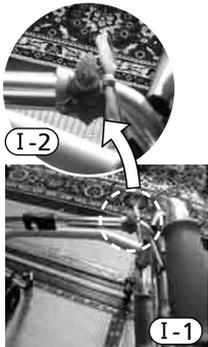
恵美子様は、室内での移動用として、4輪がキャスター(タイヤ)仕様の歩行器と軽量コンパクトなシルバーカーをご活用でした。明るい昼間は、安定感のある歩行器を、そして、身体的に不安定感の増す夜間は、歩行器よりもタイヤが大きくて敷居などの凹凸を乗り越えやすいシルバーカーを、と使い分けられていました(写真G)。

「なんだろう?」と思いついて、折り返して持ち運ぶことがない場合は、このような工夫も考えられます。ただし、重量物を追加することによってバランスを悪くする恐れもありますので、十分な注意も必要です。

手すりの数だけ物語がある

殆どの人が「住み慣れた自宅で暮らし続けたい」と

思われる大きな理由は、愛着のあるモノや思い出と一緒に暮らしたいためではないでしょうか? 何気ない手すり一本一本にも物語や思い出があり、手すりが一本増えるごとに、新しい物語や思い出が生まれます。今回の事例は、恵美子様



一方、歩行器のグリップを握って、足元に目をやると、右手グリップの根元に「バラの花の飾り物」がリボンで結んでありました(写真I-1)。

福祉用具を上手に使うって、日常らしく生活(手すり以外の工夫)

「なんだろう?」と思いついて、折り返して持ち運ぶことがない場合は、このような工夫も考えられます。ただし、重量物を追加することによってバランスを悪くする恐れもありますので、十分な注意も必要です。

シャワーチェアを活用して、もっとラクに入浴

海津様宅では、スペースが限られている洗い場で、身体の向きを簡単に変えられるように「座面が360度回転するコンパクトサイズのシャワーチェア」を上手に活用されています(写真K)。



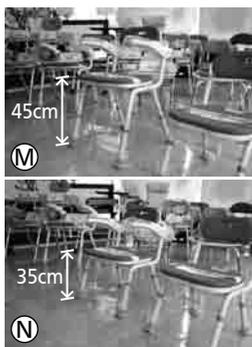
最近のシャワーチェアは、大きさや形、色や機能などがさまざま商品が揃っています(写真L)。介護ショップ新潟店。



さまざまな種類のシャワーチェア(介護ショップさくらメディカル新潟店)



また、身体や浴槽縁の高さに合わせて座面の高さが調整できたり(写真MとN)、移乗しやすいようにひじ掛けを跳ね上げることができたり(写真O)、折りたたんで収納しやすい(写真P)等々、便利な工夫がなされています。



また、身体や浴槽縁の高さに合わせて座面の高さが調整できたり(写真MとN)、移乗しやすいようにひじ掛けを跳ね上げることができたり(写真O)、折りたたんで収納しやすい(写真P)等々、便利な工夫がなされています。

年々増加する介護サービスを担う人材の新たな確保と定着化が、社会的課題の一つとなっています。

このような社会において、さくらメデイカルでは（6月1日現在の社員数260人）、一昨年の春から10年の節目を越えた社員が誕生し、今春も現場で働く社員から8人が到達しました。

一方、大学を卒業したばかりのフレッシュな新人が、昨春の4人に続き、今春も9人が入社し、「福祉用具の仕事がしたい！」という夢を実現しはじめました。

以下に、10年の節目を越えた永年勤続者と社会人1年目をスタートしたばかりの新社員の感想と抱負をご紹介します。（新社員の関連記事は4面）

10年の節目と社会人1年目のスタート!!



高田訪問介護事業所の皆さん

介護部門から

みんなに支えられ…

高田訪問介護事業所

鈴木三月

10年間、ヘルパーとして未熟な私を優しく、時には厳しく育ててくれた訪問介護の仲間。結婚や出産を経験し、復帰後は育児で休みがちな私を支え、励ましてくれたのも仲間でした。

人生の大先輩でもある利用者様からも多くの助言をいただき続けて来れました。今後も感謝の気持ちを忘れずに、互いに支え合い、励まし合いながら、精いっぱいサービスの提供していきます。

感謝の気持ち

高田訪問介護事業所

沼川洋子

ヘルパーの仕事が始めて10年になります。最初は「やっていけないのか」と不安でしたが、先輩たちに教えていただきながらここまでやって来れたと思います。

利用者様から「ありがとう。また頼むねえ」と感謝されると、「ヘルパーになって良かった。これぞやりがいのある仕事だ」と思います。これからも利用者様に喜ばれるサービスを提供し、役に立ちたいと思います。

ホッ……

高田訪問介護事業所

富樫みつ子

おはようございます。ヘルパーの富樫です。私の1日の始まりです。

10年の月日の中で、さまざまな環境において在宅生活を続けておられる利用者様から多くを学びました。利用者様やご家族様が心身ともにホッとできる時間をお届けできたと思っています。そして、少しでもそう感じていただけたならそれが私の大きなホッ……なのです。

多くを学ぶ

高田訪問介護事業所

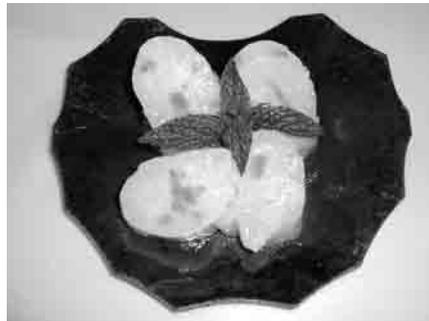
後藤由佳子

ヘルパーとしての10年間で多くの利用者様との会話の中で、生い立ちや経験談を聞かせていただき多くを学びました。

百歳で一人暮らしの利用者様の「すべてのことを受け入れる姿勢」は、穏やかな表情とともに、お話しを

介護簡単メニュー

旬の「そら豆くずもち」



夏が近づくと枝豆やそら豆が店頭に並び始めます。枝豆などにはビタミンAやビタミンCなど、一般の野菜にはあまり含まれていない良質なたんぱく質が豊富に含まれています。

栄養たっぷり価格もお値頃な旬の食材をとり入れた、見た目もおいしそうなお「くずもち」はいかががでしょうか？

作り方（4人分）

- ① そら豆（正味60g）は熱湯で茹でてから皮を剥いて粗みじん切りにします。また、枝豆の場合は、さやから出して、薄皮も剥いて使用するとよいです。
- ② 鍋にふるった片栗粉40g、薄力粉40g、砂糖30g、塩少々の中に水300ccと牛乳150ccを入れて、だまにならないように丁寧に混ぜます。
- ③ 中火で丁寧にヘラを使用しながら練り混ぜて、透明感が出てきたらみじん切りのそら豆を混ぜ合わせ、完全に透明になったら火を止めます。
- ④ 水で濡らしたパットに流し込み、表面をならして冷蔵庫で冷やします。
- ⑤ 固まったらひと口大に切って、器に盛りつけます。
- ⑥ 好みに合わせて、ごまペーストや醤油ダレなど上からかけると、さらにおいしくなります。ミントの葉を添えると、いそどりもきれいになります。

高田訪問介護事業所 板倉寛子(介護食士)

10年間に感謝

高田訪問介護事業所

藤田光代

しているだけでヘルパーである私が癒されていきました。その方のように、笑顔で穏やかに生活できるようにお手伝いしていきます。

介護を仕事として、利用者様と仲間に支えられてきたこの10年間で、一番頑張った時のような気がします。介護の勉強をしている時に学んだ「頭で考え、真心で接して良い技術を提供する」ことが私の介護における基本でした。

10年経った今でも毎日が勉強の日々です。いつも教えてくださり、支えてくださる皆様へ感謝し、今後も頑張っていきます。

営業部門から

皆様に支えられて



上越営業部 高橋 悠也

入社した年に第一子を授かり、今でも子供と一緒に成長をしている最中です。

この10年間、医療機器や福祉用具の販売やレンタルを通じて多くのお客様との出会いがあり、そして、出会った「お客様」が大きな財産となっています。

お客様からの感謝やお叱りも、その一つ一つが積み重なって今の私があります。今後もお客様とのよりよい経験を重ねてまいります。

初心忘れるべからず



上越営業部 磯波 健

10年前の入社当時のことは、今でも昨日のことのように憶えています。

これまで多くのお客様をはじめ先輩や同僚、後輩と出会うことができ、また、仕事を通して様々な経験を積み重ねていただきました。私の仕事は「福祉用具を通してお客様に喜んでいただくこと」です。入社以来忘れることのないこの気持ちを大切に、お客様と接し、仕事に取り組んでいきます。

感謝のことば



上越営業部 松澤 典男

福祉がまったたくの素人だった私が福祉用具専門相談員となり、3人の家族を養えるようになりました。

入社して3ヶ月目で長岡営業所へ転勤。大変でしたがそのおかげで培った雑草魂と、お世話になったお客様や過酷な経験など数多くの財産と共に上越に戻って七年となります。

この10年、私を成長させてくださったすべての人に感謝しつつ、福祉用具の普及に邁進します。

さくらメディカル 9つの新しい星

満足と信頼のために



新潟支店
土田 啓明

私が「福祉用具」を知ったのは、祖父母の施設への入所がきっかけでした。身体が不自由で何事にも

鬱ぎがちな祖父母が、施設にあった福祉用具を使って元気に生活をしている姿を見て、福祉用具の素晴らしさを知り、感銘しました。縁あってさくらメディカルに入社した今、1日でも早く福祉用具のプロとなつて、多くの方から満足と信頼がいただける社員になっていきたいと思ひます。

新入社員の一言抱負

笑顔と幸せを



新潟支店
坂爪 雄大

私は学生時代に、施設で現場実習を行う機会がありました。そして、その施設での介護実習を行っていたときに、福祉用具の素晴らしさに出会いました。

社会人になって3ヶ月目の現在、福祉用具の種類や特徴などを学ぶ毎日がとても楽しく充実しています。今後も積極的に、何事にも興味を持って、1日ずつ成長して、ひとりでも多くのお客様に笑顔と幸せをご提供していきたいです。

つくり上げる



新潟支店
熊倉 広朗

「モノづくり」が大好きな私が、就職先を探している中でさくらメディカルに出会いました。お客様のニーズを把握して、適切な福祉をご提案することも、「つくり上げる」という意味ではモノづくりのひとつです。

今は福祉用具のメンテナンスなどを少しずつ学んでおり、工具を使っての修理や調整がとても楽しいです。お客様に最適な福祉用具をつくり上げ、信頼される社員になりたいです。

前より

生き物詩リリース6

詩 国見 修二(詩人・上越詩を読む会 妙高市)
絵 山本みゆき(子どもの読み聞かせサークルでの活動 上越市)

オケラ

モグラとくらべんな
おいらはおいら おらオケラ
土を掘って疲れば
ビィービィービィーと
楽器を弾くのさ
飛んでもぐって泳いで走る
おいらはおいら おらオケラ



新潟支店
須佐 美幸

入社にあたっての決意

去年、就職活動の真っ只中に、祖父母が倒れ、介護が必要な状態になりました。介護に追われる親の手助けを何一つできない自分に悔しさを感じた時、さくらメディカルに出会いました。それまで知らなかった

「新しい分野」への挑戦に不安もありましたが、今度は今まで支えてきてくれた人たちに私が恩返しをする

番だと思って、日々感謝するという気持ち忘れず、成長目指して努力します。



長岡支店
平原 和樹

目標! 信頼No.1!

海の町柏崎市出身の平原和樹です。大好きな新潟で福祉に携わる仕事をしたいと思い入社しました。

日々先輩に同行してお客様と関わる中で、福祉用具の奥深さを感じています。数多くの福祉用具の中から適切なものを、責任をもって選定するには幅広い知識が必要です。日々勉強して「平原に任せれば間違いない」といわれる「信頼ナンバー1」を目標に、毎日元気に頑張っています!



長岡支店
石月 美沙世

福祉用具のプロに

学生時代に祖母の在宅介護を経験しました。立ち上がりの介助が上手くできなかったため、さくらメディカルの社員の提案を受けて手すりを設置すると、手すりによって祖母の立ち上がりがとても楽になりました。

その経験から、私もお客様やご家族のご要望に感じられる「福祉用具のプロになりたい!」と思い、その

新潟ブロック通信 新潟西営業所



明るい店内、介護用品も豊富

こんにちは、昨年五月に開設した新潟西営業所です。地域の皆様に支えられ、おかげさまで一周年を迎える

ことができました。新潟市西区寺尾西の交通量の多い西大通りに面しており、さくらのマークの看板が目印となっています。

担当している主な地域は、新潟市の西区と西蒲区、弥彦村です。

当営業所は介護ショップと居宅介護支援事業所を併設しており、福祉用具だけでなく介護全般を総合的にサポートしています。

スタッフ総勢十一人(福祉用具の営業やサポート担当、ショップ店員、ケアマネジャー、事務担当)で福祉用具の普及に取り組みんでいます。

「福祉用具をより身近なものに!」を合言葉に、福祉用具を通じて、ひとり

として、お客様と関わっていきなす。

誇りを持って



上越営業部
竹田 隼人

私は、誇りを持って働くことのできる仕事がい!と考えており、さくらメディカルはその思いを実現できる!と感じています。現在は、まだまだ分からないことが多くありますが、多くの方からのご指導をいただきながら、研修に励んでいるところです。

今後は、自分ができる仕事を少しずつ増やし、お客様に質の高いサービスを提供できるように努めます。

祖父母の介助から



上越営業所
松本 由美

祖父母の介助やボランティアの中で、車椅子や杖などの福祉用具がその方の暮らしにいかにか影響を与えるかを目の当たりにしました。そのときの経験と当社の事業内容に共感したことが入社を決めるきっかけでした。入社以来、先輩と一緒にお客様とお会いする中で、働く意義を実感しています。

福祉用具を通じて、お客様がご自宅で快適に生活するためのお役に立てるよう、頑張っています。



福祉用具をより身近なものに! スタッフ勢揃い